



高嶋家文書目録

太宰府市公文書館

文書群名 筑紫郡那珂川町道善 高嶋家文書

年 代 鎌倉期～大正 4 (1915) 年

数 量 22 件 (24 点)

収蔵形態 複写資料

内 容 高嶋家文書は太宰府市五条の平井氏の文書である。平井氏は宰府鋳物師で九州惣官地頭職東氏の系譜をひく家とされる。江戸期に筑紫野市針摺の平井氏と太宰府市五条の平井氏とに分かれ、文書も分蔵された（それぞれ平井家文書、高嶋家文書）。

針摺平井家文書の写しを多く所蔵し、平井家文書の原本の欠損部分を補うことができ、貴重である。また、戦国期～近世初頭にかけて宰府市に形成された六座（米屋・金屋・小間物屋・相物屋・紺屋・鍛冶屋）の由緒を示す文書が含まれており、特に「六座目録」（No.1）は西国における連雀（行商人）関係の文書として学界で注目された史料である。なお、五条平井氏は幕末頃には瓦職人となっていることが確認され（昭和30年代まで）、太宰府聖堂再建の瓦図も含んでいる。

関連文献

朱雀信城「〈資料紹介〉宰府鋳物師平井氏の文書について—平井家文書・高嶋家文書の紹介—」『太宰府市公文書館紀要—年報太宰府学—』太宰府市、2015年、54-80頁

名古屋大学文学部国史研究室編『中世鋳物師史料』法政大学出版社、

1982年

網野善彦『日本中世の非農業民と天皇』岩波書店、1984年、432-538頁

山村信榮「太宰府の屋瓦—梅の紋様のある瓦—」『年報太宰府学』4、2010年、48-55頁

閲覧条件 所蔵者の許可を必要とする

複写条件 所蔵者の許可を必要とする

高嶋家文書目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1	六座目録	文化11戌年正月写	平井藤右衛門		宰府に所在した六座の構成、各家の系譜、天満宮への能奉納などについて記す、元禄9年子2月写を再書写	縦帳	1	長沼文庫251に同文の写しあり
2	六座之記録				高嶋1とほぼ同内容	継紙 (3枚継)	1	
3	御笠郡宰府村鑄物師往古頼朝公御下文写	享保15歳10月28日			平井家に残る鑄物師関係文書の写し、享保15年に真継家に提出した控えカ、末尾に「六月二日享保十五年戌年申来ル」とあり、表紙・奥書あり	縦帳	1	3-1～3-8までは縦帳の細目録
3-1	源頼朝下文写	文治5年8月日	<袖>「頼朝公御在判」、端正〔時政カ〕承	平井大夫殿・伊与〔豆〕藤内殿(天野遠景)	平井1に同じ			平井1に原本あり、青柳1994-1に写しあり
3-2	大府宣写	弘安元年12月日	都督平朝臣(成俊)御判	太〔大〕宰府在庁官人等	平井3に同じ			平井3に原本あり
3-3	大内氏奉行人連署奉書写	天文18年3月18日	遠江前司(相良武任)在判・安房守(陶隆満)在判	杉豊後守殿(杉興運)	平井7に同じ			「御奉書案裏書」「裏書御在判」とあり、平井7に原本あり
3-4	將軍家政所下文写	建暦2年9月13日	令函書允清原(清定)判・別当相模守平朝臣(北条義時)判・右近衛資〔将監〕兼遠江守朝臣(親廣)判・武蔵守朝臣(北条時房)判・〔知事家〕惟宗(孝実)判・案主菅野(景盛)判	諸国渡地頭等者〔所〕	平井2に同じ			平井2に原本あり
3-5	後奈良天皇綸旨写	天文12年3月16日	左大弁(町資将)在判	藏人中務丞殿	平井4に同じ			「裏書綸旨案裏書(ママ)」「裏ニ久直御在判」とあり、平井4に原本あり
3-6	真継久直書下写	卯月19日	久直御判	惣官藤右衛門〔尉〕殿	平井5に同じ			平井5に原本あり
3-7	真継宗弘年貢催促状写	天文18年3月日	御倉民部蒸〔丞〕御在判	釜屋所	平井6に同じ			平井6に原本あり

高嶋家文書目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
3-8	鎌倉判御触状申来候写	寛永歳中			平井14に同じ			「享保15年戌年申来ル」とあり、平井14に原本あり
4-1	豊後国玖珠郡地頭十二家				平井11-1に同じ	一紙 (2枚)	1	平井11-1、平井11-2、高嶋4-2に写しあり
4-2	豊後国玖珠郡地頭十二家				平井11-1に同じ	一紙	1	平井11-1、平井11-2、高嶋4-1に写しあり
5	〔達〕	巳9月		御笠郡宰府 御蔵納分 藤十	百姓共へ貸し渡す錢を差し捨てに付褒状	継紙 (3枚継)	1	
6	筑前太宰府六座之覚	文録〔禄〕元<壬辰>年 6月朔日		大鳥居信岩殿	六座およびその組子の人名書上、ただし、文禄元年は12月8日改元	一紙	1	
7	覚	月日			六座の構成および手子の人数、能奉納などについて記す	一紙	1	
8	釜屋座之事写	安永8年 2月15日	筑前国太宰府 平井藤蔵 利信書判	高口〔嶋〕与惣右衛門殿	平井12に同じ	一紙	1	平井12に原本あり
9	江戸長吏頭団左衛門判肥前国長吏頭助左衛門方江下ス状之趣	巳2月			江戸長吏頭左衛門(弾左衛門)頼兼の支配下にあるべき職種29種を記す	継紙 (4枚継)	1	
10-1	高橋紹運書状写	正月11日	紹運(花押影)	平井市助殿	平井8に同じ	一紙	1	一紙に10-1、10-2を連続して写す、平井8に原本あり、青柳403-1に写しあり
10-2	高橋紹運書状写	3月18日	紹運書判	平井市助殿	平井9に同じ			平井9に原本あり、青柳403-2に写しあり
11	〔瓦図〕	安政4年青龍在乙巳8月吉旦			太宰府聖堂再建の瓦(軒丸瓦・軒平瓦)図面	一紙	1	
12	〔達〕	未12月		御笠郡 宰府御蔵納分 五三郎	寸志米1俵9升9合差上に付褒状	一紙	1	
13	〔達〕	酉8月		御笠郡 観世音寺村 庄屋 藤右衛門	遠賀・鞍手・嘉麻・穂波四郡水損にて返免村々あるところ、寸志米5表差出につき褒状	継紙 (2枚継)	1	
14	御備附				黒田二十五騎の書上げ、ただし一般に知られる黒田二十五騎とは人名の出入りあり	継紙 (2枚継)	1	

高嶋家文書目録

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
15	乍恐申上ル口上之覚	享保3年 戌ノ4月 8日	さいふ村庄屋源 五・同村頭百生 〔姓〕七右衛 門・同新九・同 市郎兵へ・同弥 七・同善九郎・ 同利三郎・同惣 介・同六三郎	麻生四郎右衛門 様・川崎伝二郎 様	宰府村と観世音寺村の境界鼓 石の新土手建設の相論につい ての宰府村側の向上覚。末尾 に「ひかへ」とあり	継紙 (4枚 継)	1	
16	往来手形	弘化3年 午3月	筑前太宰府 光 明寺 (印)	所々 御関所 役人衆中	僧1人・俗人3人の肥後への往 来手形	一紙	1	
17	御笠郡宰府村組頭五三郎依願其 村山ニ而左之杉可召渡根伐証抛 之事	辰12月3日	藤井与一 (黒 印)	山口村 庄屋 山ノ口中	一ノ谷の杉10本伐採の件	継紙 (2枚 継)	1	
18	誤申上ル売物之事	文化11年 戌11月	新七・請人孫兵 衛・同一家中	藤右衛門様・御 町内中様	私了簡違いにより存外の過言 申し上げたことにつき詫状	一紙	1	
19	源頼朝下文写	文治5年8月日	<袖>「判」(源 頼朝)・端正 〔時政カ〕承	平井大夫殿・伊 之〔豆〕藤内殿	平井1に同じ	一紙	1	平井1に原本あり、青柳 1994-1に写しあり
20	〔覚〕	元禄15歳次壬午臘 月中浣	石城山重野积壮 宗書		平井氏の信男信女の法名とそ の由来	一紙	1	
21-1	口上	大正4年11月29日	森弘	宮小路様	平井家文書返却に関する口 上、平井家所蔵の筑紫鑑を東 京九段遊就館関主事調査につ き依頼	継紙 (2枚 継)	1	
21-2	送り記	大正4年11月29日	森弘	宮小路克三郎様	借用していた平井家文書の返 納目録	一紙	1	
22	〔漢詩〕	甲子晩春初7日賞	桂愚道人		七言絶句。平井氏の庭の桜席 における詩作	一紙	1	